

ZENBUTSU

全仏



No.
551

仏暦2552年 8月
[2009年]



朝の瞑想をするティラシンと呼ばれる女性の修行者 ミャンマー（ビルマ） 撮影 田村 仁氏

目次

TOPIC 天台座主 初の高野山公式参拝
日韓・韓日仏教文化交流大会
加盟団体をゆく 第27回 新義真言宗
理事会・評議員会・参与会
日本宗教連盟が臓器移植法改正案の参議員審議に対する意見書を発表
都道府県仏教会代表者会議・研修会
国際交流審議会・広報委員会
朝鮮半島出身の旧民間徴用者の遺骨問題に関する
質問主意書を江田五月参議院議長に提出



財団法人 全日本仏教会
JBF WFB(世界仏教徒連盟)日本センター

TOPIC 高野山弘法大師降誕会 （天台座主、初の高野山公式参拝）

和歌山県高野町の高野山真言宗総本山・金剛峯寺に於いて六月十五日「弘法大師降誕会」が開催された。今年は天台宗総本山延暦寺の半田孝淳座主が参列し、史上初の天台座主の公式参拝として大きな注目を集めた。



松長有慶金剛峯寺座主（写真左手前）
半田孝淳天台座主（写真中央）
葛西光義法印（写真右手前）

平成十七年十月、延暦寺で営まれた天台宗開宗千二百年慶讃大法会に金剛峯寺から資延敏雄座主（当時）が参列。

その後、松長有慶座主が全日本仏教会会長に就任した後に開催された「第二十四回世界仏教徒会議

日本大会」や両総本山が加盟する神仏霊場会などの交流を通して両猊下の親交が深まった等のきっかけもあり、今回の公式参拝が実現した。

十五日午前八時過ぎ、半田座主及び濱中光礼宗務総長以下天台宗内局十二名を大師教会前にて松長座主以下高野山真言宗内局がお出迎えた。既に報道陣は三十名を超えていた。

九時より金剛峯寺本堂に於いて「弘法大師降誕会」の法要。壇上には半田座主、松長座主、葛西光義法印が着座し、下座には天台宗・金剛峯寺両内局、山内僧侶、壇信徒や参拝の方々約五百名が参列。

声明「誕生講式」を唱え、半田座主は弘法大師のご幼少の姿をかたどった「稚児大師像」に甘茶をかける灌沐作法に参加した。

法会終了後、両座主及び両内局は奥之院 弘法大師御廟へご参拝。



奥之院弘法大師御廟参拝

その後、両座主は金剛峯寺座主応接室にて記念撮影及び歓談が行われた。半田座主より弘法大師の降誕会にお招き頂き、格別の配慮を頂いた事に関する感謝を述べられると、松長座主は「こうして公式参拝を頂いたということがまだ夢のよう」と、喜びを述べられた。

半田座主は、「伝教・弘法両大師は『日本をどう救うか』という事に対し、それぞれのお立場で考えご尽力された。その姿を今日拝する事ができました。現代の日本をどう救うか、という点については、松長猊下は全日本仏教会の会長であり、（日本仏教界の）リーダーとして進んでおられる方なので、我々もそれにしっかりついていき、今後も真言宗・天台宗が大

いに手を取り合って共に社会に貢献してゆきたい」と抱負を語った。

会見終了後、半田座主は数々の国宝・重要文化財を擁する霊宝館を拝観。弘法大師真筆の国宝『磬指帰』等を鑑賞した。

今回の公式参拝を受け、金剛峯寺より延暦寺及び天台宗に対し、平成二十七年四月～五月に迎える高野山開創千二百年記念大法会に於いて是非とも仏法興隆・世界平和法要を営んで欲しいとの要請がなされ、さらなる交流を約束した。

今後、世界平和という大きな目標の為に宗派を超えた協力が一層進んで行くと期待される。

（関連写真二十頁に掲載）



高野山真言宗内局及び天台宗内局の記念撮影

日韓・韓日仏教文化交流大会 第三十回神勒寺大会開催

五月十二日から十五日までの四日間、韓国の曹溪宗神勒寺を中心に「第三十回神勒寺大会」が開催された。

本会からは松長有慶会長の名代として深澤信善事務総長、及び加久保範祐財務部長が参加した。参加者総数は韓国側二百十四名、日本側九十名（主催側発表）。

日韓仏教交流協議会（会長宮林照彦師）と韓日佛教文化交流協議会（会長智冠師）は、日本と韓国の両国仏教徒の交流・親善を図るために、毎年日本と韓国で交互に大会を開催している。昭和四十七年に韓国の扶余に、日本仏教徒の総意を集めて「仏教伝来謝恩碑」を建立した。これにより昭和五十二年に全日本仏教会のもとに発足し、第一回大会をソウルで開催した。その後は三度の中断があったが、歴代有志諸大徳のご尽力により現在に至っている。今回は交流大会三十周年記念人類和合共生祈



三百名を超える参加者が一堂に会した

願碑除幕式が併せて執り行われた。五月十二日午後六時、それぞれの便で参集された参加者が顔を揃え、小鍋常任理事の司会のもと結団式が行われ、宮林会長から挨拶が述べられた。

午後六時半より歓迎晩餐会。約四百人の参加者。両国から二名ずつの挨拶があり、日本側からは西郊理事長・持田副会長が挨拶された。その後に両国役員の紹介がなされ、オレンジジュースでの乾杯、記念品の交換と続いた。本会

からは黒塗りの褒賞盆と、松長会長ご染筆の扇を深澤事務総長から智冠会長に贈呈した。晩餐では、民族衣装を纏った女性達の合唱と伝統舞踊が披露され、華やか且つ和やかに宴が催された。

仏教文化交流大会三十周年記念 人類和合共生祈願碑除幕式

平成十七年に開催された第二十六回韓国修徳寺大会において、宮林会長が過去の植民地支配等に反省を表明。さらに第二十八回韓国海印寺大会では人類和合共生祈願碑建立を提唱。そして今回の第三十回神勒寺大会に於いて、長年の想いが結実された。

朝から晴天に見舞われた五月十三日、神勒寺を会場として、世界平和祈願法要が厳粛に執り行われた。日本側からは宮林会長の挨拶と表白文の読み上げ、そして本会事務総長が松長会長の祝辞を代読。KBS（韓国メディア）を始め、多くの報道陣が訪れた。法要が終って記念写真の後、場所を移動して「人類和合共生祈願碑」除幕式が執り行われた。幕を降ろす

二本の紐を両国協議会役員がそれぞれ手に持ち、ハンゲル語で「仏・法・僧」の掛け声を合図に除幕が行われた。

その後、会場を利川ミランダホテルに移し、学術セミナーを開催。日韓の両会長が講演された。

宮林会長は、「韓日の問題は政治的理念では解決できない。仏教者の立場で努力し合うことで、解決の糸口をつかむことができる。日本の植民地時代に強制連行され、犠牲になった韓国人の遺骨を故郷の地に返還するため、両協議会は協力し努力し合っている。両国の関係は、加害者と被害者という認識がある限りは解決が難しい。お互いが一つになり和合する精神が必要である。」と、ご自身の思いを述べられた。

講演終了後、両国事務局長から、正しい歴史観を持ち、今後も努力する旨の共同宣言を採択して閉会した。

日韓仏教交流協議会事務局アドレス
http://www.daito.info/nikkanbu_kkyou.htm

加盟団体をゆく

《第二十七回》新義真言宗

今回は、新義真言宗を訪ね、関根真教管長にお話を伺いました。

総本山根来寺（和歌山県岩出市）は、「根本大塔」が国宝に指定されており、境内に残る中世の佇まいや四季折々の桜・青葉・紅葉が多く、参拝者の目を楽しませ、心を癒しています。



関根真教新義真言宗管長

— 貴宗派の活動で、継続的に、また特に力を入れていらっしゃる点についてお聞かせ下さい。

新義真言宗は、宗祖興教大師（覚鑿上人）の思想を受け継いで教義としております。

宗派の活動で特に人材育成に力を入れております。

僧侶になる為の修行、「加行」は必ずこの根来寺に於いて実施されます。これは現代の世の中では大変貴重なことだと思っております。

今後の課題としては、「加行」で学んだことを一生を通じて維持していくための取り組みや研修会、意識の啓発等を考えております。

また、葬儀法要に限らず、色々な場面で僧侶が布教活動を行うことがあると思いますが、布教に関しては特に宗派では研修等を行っておらず、個人の資質に任せているのが実情で、その点が気になります。宗派としての取り組みが是

非とも必要です。

現代、人々は僧侶に対して儀式・儀礼以外にも釈尊の教えを説いてほしい、とか、身近な悩みに答えてほしい、という要望も感じられます。宗派や地域で僧侶に対して布教に関するレクチャーを行っているのではないかと考えております。

不動堂での毎月のご縁日は、ご信者の皆様との一番の交流の場と言えます。特に一月二十八日、八月二十八日は秘仏となっているお不動さまがご開帳され、大護摩供を厳修いたしますので多くのご信者さまで賑わいます。こういった機会をもっと生かして布教教化を行い、本山として現代における責務を全うしていきたいと考えています。

広報活動と致しましては、布教誌「ともしび」を発行しています。ホームページも総本山根来寺と統合し、よりわかりやすく、多くの情報を掲載できるように更新を進めております。

新義真言宗は歴史の上で、豊臣秀吉による焼き討ちを受けた後に、なかなか復興が進まなかったなど、悲劇的な時代を多く体験致しました。歴史の生き証人として、現代に語り継ぐべく、根来寺文化研究所において歴史及び所蔵文化財の保存、調査研究や普及、文化財関連出版活動を行っております。根来寺のすぐ近くには岩出市民俗資料館も存在し、少しでも歴史を伝えてゆることができればと考えております。



国宝 大塔

— 今後の仏教界の在り方について、指針をお聞かせ下さい。
特に顕著に感じますのは、葬儀

等に伺った際に、肉親の方が亡くなったのに嘆き悲しんでいる、という風を感じる事が少なくなってしまうました。故人の為に供養をしているというより、お墓の問題や、お骨をどうにかしなくてはいいけないなど、面倒だがやっておかななくてはいけない。葬儀法要が煩わしいもの、という位置づけにされてしまっているのではないかと危機感をもっております。

また、故人の遺言で「遺族に迷惑をかけたくないので永代供養にしてほしい」というお話や、「息子がそういう事に一切関心が無いから無縁仏に入れてほしい」という要望も増えております。いづろから、故人の供養をすることが、「ご遺族にとって負担で迷惑なもの」という位置づけにされてしまったのか。

メディアが仏教界にあまり目を向けてこなかった事、人々が経済優先の考え方に走りすぎてしまった事、即物的・唯物的になってしまい情緒的な発想が段々できなくなってしまう事など、原因は

色々考えられます。仏教界挙げてそうした世間の風潮に対し、積極的にアピールをしてゆかねばならないのではないかと考えております。

―昨今の様々な社会問題について、感じていらっしゃる思いをお聞かせ下さい。

昨今、悲惨な事件が頻発しておりますが、この原因の一環は、戦後教育の歪みにあるのではないかと思っています。

戦後の教育と一言で言っても色々な側面があるとは思いますが、特に問題なのは、子どもを育てる際に全体を見て育てようとしなかつた事が問題だったのではないかと考えております。子どもたちを競争主義社会に対応させるため、頭が良い子、つまりは勉強が出来る子が素晴らしい人間である、という価値観で教育してきた事が今日の事態を引き起こしているのではないのでしょうか。

オウム事件の際にも、学歴の高い人々がいとも簡単に教団の教義

に傾倒していきました。純粹に勉強のみにエネルギーを注いできた人の無防備さ、危うさという一面が露呈しました。太平洋戦争の際、道徳の名目で全国民が煽動されてしまった反動か、道徳教育の推進にはすぐに反発が起こります。しかし、人間として欠くべからざる知的教育を行い、知識のみではなく、人格的なものを含めた総合的な人間教育を早急に行う必要があるのではないのでしょうか。

また、いくら資本主義が競争原理社会とは言っても、現代の企業や人々は利益追求に特化しすぎています。最後まで、あるいは死んでからも競争社会になってしまっており、休まる事がありません。社会がどんどん殺伐としていってしまうでしょう。

戦後六十年以上を過ぎ、進行してきたこうした現象を巻き戻すには相当のエネルギーが必要であり、宗教界だけではとても難しいと思っています。

そのために、何か各業界を通じて太い一本のビジョンを持ち、そ

れに向かって努力するのが近道ではないかと思えます。

最近注目されているエコへの取り組みなどは、そうした活動に昇華できる可能性があるのではないかと思います。

―(財)全日本仏教会へのご要望やご意見がありましたらお聞かせ下さい。

全国各地の寺院に対するアンケート等の調査・研究を行って頂いたり、全国的に仏教界が取り組んでゆくべき事への指針を示したり、きっかけを作って頂けると大変ありがたいと感じております。

一宗派、一仏教会に比べますと、全日本仏教会は色々な世間の機関に接することができると思えます。メディア対応を含めて、各団体の活動の広報等をより進めて、連携していけると良いのではないかと、と思えます。

(談)

新義真言宗ホームページ

<http://www.negoriji.org/>

理事会・評議員会・参与会開催

五月二十九日(金)
於 リーガロイヤルホテル京都

本会寄附行為に基づき、理事会議長に豊原大成理事長が、評議員会議長に玉久圭澄香川県仏教会長が選出された。会議の議事は、まず理事(常務理事)・評議員の変更について、評議員会・理事会それぞれの審議を受け、承認された。

・理事(常務理事)
退任 細川景一(臨済宗妙心寺派)
就任 松井宗益(臨済宗妙心寺派)
・評議員
退任 宮崎憲之

(浄土真宗本願寺派) 遷化
田中信道(浄土宗)
岡部兼海(高野山真言宗)
青柳雅明(山梨県仏教会)
矢坂誠徳(兵庫県仏教会)
吉田海心(宮崎県仏教連合会)
五條良知(全日本仏教青年会)
就任 百山敬祥(浄土真宗本願寺派)
里見嘉嗣(浄土宗)

四之宮弘孝(高野山真言宗)
姉川慈濟(山梨県仏教会)
足立泰教(兵庫県仏教会)
高橋順海(宮崎県仏教連合会)
宮寺守正(全日本仏教青年会)
続いて、平成二十年事業報告並びに収支決算について、事務総局の詳細な説明があり、評議員会の審議が行われた。審議終了後、

玉久圭澄評議員会議長より理事会に対して、全会一致で賛同との報告がなされた上で、理事会の審議が行われ、承認された。

続いて理事会・評議員会共通の協議事項「(仮称)大蔵経編纂会議の設置について」が玉久圭澄評議員会議長より上程。

提案者である大蔵経データベース化支援募金会奈良康明事務局長から大蔵経データベース化の経緯と「(仮称)大蔵経編纂会議(研究推進会議)」の設立趣旨について、大蔵経テキストデータベース研究会下田正弘代表(東京大学教授)より、同会議の体制・運営等について、それぞれ資料に基づき説明された。



大蔵経データベース化支援募金会奈良康明事務局長(左)
大蔵経テキストデータベース研究会下田正弘代表(右)

協議の結果、同会議の設置について全会一致で賛同の意が示され、今後次の理事会で議決として上程、継続審議することとなった。

同じく共通の報告事項として、以下の事項が報告された。

一、WFB(世界仏教徒連盟)執行役員会議報告

国際部長より、四月二十八日から五月二日にかけてタイ・バンコクで開催予定であった「オリエンテーションセミナー」及びWFB執行役員会議が、タイ国内の政情等を考慮したWFB本部の判断により延期となったことが報告された。

また、バンコクで開催された「国連ベサックデー」(五月四日〜六日)、についても、山田一眞理事が出席予定であったが、同様の事情に鑑み出席を辞退したことが合わせて報告された。

二、各部報告

総務部より、本会の公益認定に向けた取り組みのため、公益認定においてどのような課題が考えられるか、事務総局で契約を検討しているコンサルタント会社に対し投げかけをしていることが報告さ

れた。また、資料に基づき「本会事業のご理解を頂く為の説明派遣」について説明。

次に、深澤事務総長より、本会が協賛団体となっている日本宗教連盟の臓器移植法改正への対応について報告。

財務部より、賛助会員制度運用の現況について資料に基づき報告。

社会人権部より、社会人権審議会の審議を経て「首相及び閣僚の靖国神社公式参拝中止の要請」文を、昨年に準じた内容で準備していることを資料に基づき報告。

続いて、小保方教円評議員が、第四十一回全日本仏教徒会議栃木大会(二〇一〇年十一月九日・十日開催予定)の準備状況について報告。

広報文化部より、機関誌『全仏』広告協賛、花まつりの全国展開のためのポスター・絵はがき作成等の取り組み、ホームページ運用現況について資料に基づき報告。

国際部より、国際交流審議会の中間答申について、資料に基づき報告。また、WFB本部表敬訪問・ルンビニー園参拝のツアーを来年(二〇一〇年)二月に実施することを検討し、準備を進めていることを報告。

日本宗教連盟が臓器移植法改正案の 参議院審議に対する意見書を発表

日本宗教連盟は、臓器移植法改正案の参議院での審議に際し、宗教者の立場から以下のとおり意見を表明いたします。

私たち宗教者は、この世に生を享けた一人ひとりのいのちは、どの宗教においても、すべて等しく、かけがえのないものと受けとめています。一方、脳死・臓器移植は、

生きている他者の重要臓器の摘出を前提としている限り、普遍的な医療行為にはなり難いと思料いたします。こうしたことから、参議院での審議にあたっては、ドナーとレシピエント双方の「いのちの尊厳」が侵害されることがないように、下記の点を踏まえ、慎重に審議を重ねられますよう、お願い申し上げます。

一、脳死と診断された後、身長が伸び、体重も増え、いのちを刻み続けている子どもたちが

数多く紹介されている。また、多くの日本人が、今なお「死の三徴候」をもって、「人の死」を受け入れていることから、「臓器移植の場合にのみ」に「脳死を人の死」と規定すべきである。（現行法の尊重）

二、臓器移植後、手紙や日記などで本人が移植を望んでいなかったことが判明する場合は想定される。ドナーの「いのちの尊厳」を守るためにも、「本人の書面による意思表示」を規定すべきである。（現行法の尊重）

三、脳死段階での小児からの臓器移植については、大人と異なり子どもが蘇生力に富んでいることから、より厳格な脳死判定の基準の導入、被虐待児を対象としないなど、脳死判

定基準の検証をはじめ子どもを保護するシステムを検討すべきである。

四、以上三点を踏まえ、わが国の脳死・臓器移植が直面している諸問題を解決していくために、「第二次脳死臨調」を早急に設置し、集中的な検討を始めるべきである。

臓器移植法の改正は、国民一人ひとりの死生観、とりわけ次の世代を担う子どもたちへの影響が大きいことから、問題点を残したまままでの採決は、将来にわたり日本の文化・社会に大きな禍根を残すものとの危惧の念を禁じえません。良識の府・参議院において、ひとえに秀抜なるご見識をもって慎重にご判断されることを、強く要望いたします。

平成二十一年七月一日

財団法人 日本宗教連盟

理事長 岡野 聖法

(原文掲載)

BEP(仏教英語プログラム) 参加者感想文

BEP(仏教英語プログラム)参加者より、BEP及び昨年十一月に開催された第二十四回世界仏教徒会議(通訳・ガイド等のボランティア参加)の感想文をお寄せ頂きました。(原文掲載)

私は知人の紹介で、途中参加ではありましたが、約一年間プログラムに励みました。プログラムでは実践的な内容が多く、仲間と楽しく英語を学べました。

英語を学べただけでなくプログラムを通して新たな出会いがあり、人脈を広げる良い機会となりました。そして大会においては、ボランティアを通して異国の方と交流を結べただけでなく、様々なシンポジウムから刺激的な話を聞くことができました。

浅草寺の法要では、世界各国の仏教徒達が一堂に会する瞬間は本当に圧巻でした。確実に仏教史の記録に残るだろう出来事に、立ち会えたことを実感し感動しました。

またこういった機会がありましたら是非お手伝いさせて頂きたいと存じております。

貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございます。

大正大学四年 田中祐子

都道府県仏教会代表者会議・研修会開催

七月一日午後二時より、日光「千姫物語」会議室に於いて「都道府県仏教会代表者会議」を開催した。

三帰依文の唱和の後、深澤信善事務総長より挨拶。続いて菅原栄光栃木県仏教会会長（日光山輪王寺門跡）及び塚田宗雄栃木県仏教会理事長が挨拶を行い、平成二十二年十一月九日、十日両日に開催予定の「第四十一回全日本仏教徒会議栃木大会」へ、各都道府県仏教会の協力及び参加をお願いしたい、との呼びかけを行った。

続いての研修会は、長谷川正浩



挨拶を行う菅原栄光栃木県仏教会会長（日光山輪王寺門跡）

本会顧問弁護士が「お寺の税務対策」宗教法人をめぐる税制と最近の問題点」のテーマで講演。

現在、宗教法人の税金は、法人税は原則非課税、例外的に収益事業には課税されている。その非課税の理論的根拠として、宗教が公益である、政教分離の原則から、法人税は本質的に非課税にすべき等の説があるが、社会通念とかけ離れた要求は認められない恐れがある」という事に関して様々な具体的事例を挙げて説明。

近年判例が出ているペット供養やペット霊園に関する課税の問題等も、実例を交えて解説がなされ、税務調査への対応に関して注意事項が解説された。

講演の後、質疑応答では、「都道府県仏教会等で開催する講師等への謝礼に関しては源泉徴収をすべきか」等、具体的な質問が寄せられていた。

午後三時五十分より都道府県仏

教会代表者会議が、山田一眞東京都仏教連合会会長を座長に開会。各仏教会から活動報告及び市町村合併にともなう問題点が報告された。市町村合併後折衝がうまくいかないケース、地区仏教会のネットワークが崩壊してしまっているケース、都道府県会そのものが解散しかかってしまった危機的なケース等が報告され、全日本仏教会から仏教会に対して応援を、との声寄せられた。

一方で、市町村合併の影響が無い、もしくは非常に少ない、というケースもあり、各地域による市町村合併及び人口減少の影響の差異の大きさが感じられた。

続いて、県仏教会を各地域別にブロックに分け、より効果的な事業促進を行っては、という案が提唱された。

協議の結果、ブロック制そのもののメリットは感じられるが、実際に実行を考えた場合に各仏教会の問題点が障害になるのでは、との意見が出され、今後都道府県仏教会の活動状況を踏まえ慎重に検

討を続ける事となった。

報告事項として、「第四十一回全日本仏教徒会議栃木大会」の進捗状況が栃木県仏教会事務局より報告された。また、本会事務局より、公益認定に関する取り組み、選挙推薦に関する事、朝鮮半島出身の旧民間徴用者等の遺骨返還に関する事が報告された。（関連記事二十頁）

閉会后、懇親会が開催され、終始和やかに懇談が行われた。

翌二日、日光山輪王寺の拝観が行われ、菅原栄光日光山輪王寺門跡のご配慮により参加者は様々な場所を参拝させて頂いた。



特別拝観を行う参加者

「天台座主半田孝淳猊下の印度山日本寺竺主就任を祝う会」

七月二日午後三時半より京都八坂神社境内の中村楼において、標記祝賀会が開催された。本会からは松長有慶会長、深澤信善事務総長、壽山良光国際部長が参加した。

三帰依文唱和の後、安田暎胤国際仏教興隆協合理事長（法相宗薬師寺貫主）が開会挨拶。続いて、上原まり氏による筑前琵琶の演奏の後、半田孝淳竺主が就任に当たっての抱負を挨拶、十二月に予定される現地での晋山式に参列する意向を披露した。

松長有慶会長は半田孝淳竺主の国際的な交流活動の実績に触れ、今後より一層のご活躍をご期待する旨の祝辞を行った。また、南澤道人老師（大本山永平寺副貫首・曹洞宗中央寺住職）の祝辞が述べられ、和やかな祝宴が持たれた。

会場には各宗派管長及び宗務総長他内局関係者を中心に百名余が参加、各宗派の日本寺護持への関心の高さを伺う事ができた。

国際交流審議会

六月三日、第六回国際交流審議会が開催された。

まず始めに、五月十五日に一島委員長より豊原大成理事長へ中間答申を提出した旨が報告された。

中間答申を受けて、諮問事項である、広報・情報交流の活発化、本会設置の救済基金の活用、国際的な仏教文化活動への参加、国際的仏教人育成についての更なる具現化に向けて審議された。

特に、国際的な仏教文化活動への参加については、その前提として将来に向けて、その担い手となる人材育成の重要性が指摘され、今後の具体的な取り組みについて活発な意見交換がなされた。また、広報・情報交流の活発化の一環として、本会英語ホームページ上に各宗派・加盟団体の英語ホームページのリンク集を作成し、海外に向けて、日本の伝統仏教界を紹介していく運びとなった。

広報委員会

六月十七日、平成二十一年度第一回広報委員会が開催された。

機関誌『全仏』掲載の『論点・視点』執筆者『加盟団体をゆく』の取材方針、広告の依頼主にとって魅力のある掲載方法等について協議された。

続いて、花まつりの全国展開を更に進めていくにあたり、本会の花まつりをイメージさせる「癒し系」の作品を募集してはどうかとの提言から、公募を行い周知を高めていくのが理想ではないか、との意見が出された。

また、花まつりポスターの頒布及び絵はがき配布数について報告。来年度も絵はがきの制作を検討している旨が報告された。

本会ホームページの経過として、展覧会等イベントの入場券をプレゼントする試みが好評なため今後継続する事、加盟団体の英語リンク集作成を国際部と連携して進めている事などが報告された。

祈りの世界 ⑭ ミャンマー(ビルマ)

ミャンマー(ビルマ)を訪れると、ピンクの法衣を身に着け剃髪した女性出家者の姿をよく見かける。彼女たちはティラシと呼ばれる仏教修行者で俗世や家族とも縁を切り、尼僧院で集団生活を送りながら日々、修行に励んでいる。ティラシたちは、朝四時の起床から夜九時の就寝まで仏典の学習や瞑想、托鉢をし、仏教教団のさまざまな仏事にも参加する。そこでは僧侶と在家者の間で僧侶の補助をしたり、在家者の間に応じたりして、その献身的な働きは教団や信徒からも信頼されている。しかし、ティラシたちは今日でも僧門に入ることは認められず、僧への道は閉ざされたままである。一方、一定期間を瞑想院で修行し、ティラシを目差す若い女性たちは増えていて、ティラシの認識や地位は次第に高まりつつある。

(文章及び写真 田村 仁氏)



プラフマー(梵天)像
11世紀頃(パガン)

無料法律相談室

長谷川正浩顧問弁護士による、無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務総局03(3437)9275へ事前予約の上、お申し下さい。

暑中お見舞い申し上げます

曹洞宗宗務庁

管 長 福山 諱法
 宗務総長 測 英徳
 参 議 森 嶺雄
 参 議 藏山 光堂
 教学部長 佐々木 孝一
 財務部長 山路 純正
 総務部長 須川 法昭
 教化部長 宮下 陽祐
 伝道部長 千葉 省三
 人事部長 村松 延行
 出版部長 中野 重哉

東京都港区芝二一五一二
 〒105-8544 ○三(三四五四)五四一
<http://www.sotozen-net.or.jp>

浄土真宗本願寺派

総 長 不二川 公勝
 総 務 百山 敬祥
 総 務 橘 正信
 総 務 園城 義孝
 総 務 本多 隆朗
 総 務 那須野 淨英
 本廟局長 阿部 慶一
 宗務長期振興計画
 推進対策室長 足利 善彰
 釋尊大七草子四遺
 中央法要事務所長 藤野 堯文
 教学伝道研究
 センター所長 浅井 成海
 本願寺宗務首都圏
 センター所長 山内 教嶺
 総局公室長 藤田 誓之
 会 行 事 今小路 覚真

京都市下京区堀川通花屋町下ル
 〒600-8501 ○七五(三七)五一八一
 F A X ○七五(三五)一一二二

真宗大谷派

宗務総長 安原 晃
 参 務 不破 仁
 参 務 杉浦 義孝
 参 務 長 杉浦 義孝
 参 務 黒川 紘紀
 参 務 林 治
 参 務 江尻 静哉

京都市下京区烏丸通七条上ル
 〒600-8505 ○七五(三七)九一八一(代表)
 常葉町七五四

浄土宗

浄土門主 坪井 俊映
 宗務総長 里見 法雄
 総務局長 安井 昭雄
 教学局長 桂 大瀛
 財務局長 吉水 光慈
 社会国際局長
 社会福祉推
 進事務局長 里見 嘉嗣
 文化局長 柴村 堯海
 総長公室長 井澤 隆明
 人権同和室長 伊藤 喬淳
 宿禰大六草
 大蓮忌事務局長 光成 範道
 職 員 一 同

浄土宗宗務庁
 京都市東山区林下町四〇〇一八
 〒605-0062 ○七五(五二)二二〇〇(代)
 F A X ○七五(五三)五一〇〇五
 東京都港区芝公園四一七一四
 〒105-0011 ○三(三四三三)三三五一(代)
 F A X ○三(三四三四)〇七四四
<http://www.jodo.or.jp>

日蓮宗

管 長 酒井 日慈
 宗務総長 小松 淨慎
 伝道局長 川名 義顕
 総務局長 張田 珠潮
 伝道部長 齊藤 憲一
 教務部長 酒井 光雄
 総務部長 藤岡 映邦
 財務部長 駒野 教源
 宗務総長 長 亮行
 現代宗教
 研究所長 田澤 元泰
 参 与 堀江 宏正
 参 与 浅井 玄裕
 日蓮宗新聞社
 社 長 垣本 孝精

東京都大田区池上一一三二一五
 〒146-8544 ○三(三七五)七七八一
 F A X ○三(三七五)一七八六
<http://www.nichiren.or.jp/>

暑中お見舞い申し上げます

総本山金剛峯寺 高野山真言宗

座長	松長有慶	管長	永島龍弘	執行部長	村上保壽	宗務部長	飛鷹全隆	執行部長	森寛勝	執行部長	山階清隆	執行部長	岡部兼海	総長公室長	深真樹	社会人局長	倉岡弘叔	教学部次長	柏田良辯	内事長	加古原大岳	奥の院維那	坎宥行	伽藍維那	四之宮弘孝	東京別院主監 東京宗務出張所長	佐々木弘博	堀川別院主監 京都宗務出張所長		和歌山県伊都郡高野町高野山一三二 〒648-0294 〇七三六(五六)二〇一一 FAX 〇七三六(五六)四六四〇 http://www.koyasan.or.jp/
----	------	----	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	-------	-----	-------	------	-------	------	-----	-------	-------	-----	------	-------	--------------------	-------	--------------------	--	---

臨濟宗妙心寺派宗務本所

管長	東海大光	宗務部長	松井宗益	総務部長	栗原正雄	財務部長	松山英照	教学部長	林学道	本部園長	山英照	本部園長	松久宗心	財務部長	土井克彦	法務部長	館園長会 (兼)松山英照	花部園長	館園長会 (兼)松山英照	京都市右京区花園妙心寺町六四 〒616-8035 〇七五(四六三)三二二一 http://myoshinjij.or.jp/
----	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	-----	------	------	------	------	------	-----------------	------	-----------------	---

天台宗務庁

天台座主	半田孝淳	宗務部長	濱中光礼	総務部長	谷晃昭	法人部長	壬生照道	財務部長	山本亮裕	参学部長	水尾寂芳	参社会部長	源田俊昭	参一隅を照らす 運動総本部長	秋吉文隆	大津市坂本四丁目六番二号 〒520-0113 〇七七(五七七)〇〇二二 FAX 〇七七(五七七)二五二六 http://www.tendator.jp/
------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	-------	------	-------------------	------	---

真言宗智山派宗務庁 総本山智積院法務所

管長	阿部龍文	宗務部長	岡部快圓	総務部長	小宮一雄	教学部長	細川大憲	教化部長	岡野忠正	法務部長	江連俊裕	財務部長	芙蓉良英	宗務出張所長 別院執事	高麗行真	京都市東山区東大路七条下ル 東瓦町九六四 〒605-0951 〇七五(五四)二五三六一 http://www.chisan.or.jp/
----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	----------------	------	--

真言宗豊山派宗務所

管長	小野塚幾澄	宗務部長	川田聖成	総務部長	高橋秀三	財務部長	五十嵐賢二	教務部長	粕谷利通	教化部長	小倉秀清	教化センター長	大越恒範	真言宗豊山派総合研究院 院長	加藤精一	東京都文京区大塚五十四〇一八 〒112-0012 〇三三(九九四)〇六三九 FAX 〇三三(九九四)〇七〇二 http://www.huzan.or.jp/
----	-------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	---------	------	----------------	------	---

暑中お見舞い申し上げます

総本山仁和寺
真言宗御室派
御室流華道総司庁

管門
長跡南揚道

執行総長
立部祐道

総務部長
沖田定信

教学部長
清水實道

財務部長
西仁海

京都市右京区御室大内三三三
〒616-8092 〇七五(四六一)一一五五
FAX 〇七五(四六四)四〇七〇
<http://www.ninnajior.jp>
E-mail office@ninnajior.jp

真言宗醍醐派宗務本庁
総本山醍醐寺寺務所

座管
主長麻生文雄

宗務総長
仲田順和

総務部長
岡田祐雄

教学部長
田村照晃

財務部長
壁瀬宥雅

京都市伏見区醍醐東大路町二二
〒601-1325 〇七五(五七二)〇〇〇二
FAX 〇七五(五七一)〇一〇一
<http://www.daijioji.jp>
携帯電話でも御覧頂けます。



融通念佛宗
総本山大念佛寺

法管
主長倍巖良舜

宗務総長
吉村暲英

教学部長
中江慈光

庶務部長
岡田眞澄

財務部長
北川全宏

大阪市平野区平野上町
〒547-0045 〇六(六七九)〇〇二六
一七二二六

天台眞盛宗宗務所
総本山西教寺

管長西村岡紹

宗務総長
武田圓寵

教学部長
三津堯賢

財務部長
藤上良英

社会部長
砂原圓凝

庶務部長
色井秀宰

滋賀県大津市坂本五一三一一
〒520-0113 〇七七(五七八)〇〇一三
FAX 〇七七(五七八)三四一八

法華宗陣門流

管長椿澤日壽

宗務総長
佐古弘文

総務部長
門谷光瑞

教学部長
布施義高

教化部長
佐古大弦

財務部長
金原孝宜

宗務参事
今井満良

法華宗宗務院
東京都豊島区巣鴨五―三五―六
〒170-0002 〇三三(三九一)七二九〇
FAX 〇三三(三五七)〇〇二二一

暑中お見舞い申し上げます

<p>大阪府仏教会 會長 増田 貞圓 (真宗大谷派 圓勝寺)</p> <p>副會長 北村 日照 (日蓮宗 櫛笥寺)</p> <p>同 森田 俊朗 (和宗 四天王寺)</p> <p>同 辻本 戒雲 (浄土真宗本願寺派 常照寺)</p> <p>同 村山 廣甫 (曹洞宗 東光院)</p> <p>事務局長 井桁 雄弘 (浄土宗 大圓寺)</p> <p>事務局次長 二上 寛弘 (真言宗 釈迦院)</p> <p>事務局 大阪市住吉区墨江三十七一八 大圓寺内 〒558-0043 〇六(六六七)三二五九 FAX 〇六(六六七)三二五〇四</p>	<p>社団法人 全日本仏教婦人連盟 名譽會長 鷹司 誓玉</p> <p>會長 大谷 貴代子</p> <p>副會長 稲山 靈芳</p> <p>同 大賀 美都子</p> <p>同 末廣 久美</p> <p>理事長 島田 喜久子</p> <p>事務局長 林 惠智子</p> <p>東京都渋谷区千駄ヶ谷 四一五一十一二〇五 〒151-0051 〇三(五七七)〇六七七 FAX 〇三(五七七)〇六七七 http://jbwf.jp E-mail: info@jbwf.jp</p>	<p>財団法人 仏教伝道協会 會長 沼田 智秀</p> <p>理事長 福山 諦法</p> <p>理事 中西 智海</p> <p>同 木村 清孝</p> <p>同 桂 紹隆</p> <p>同 門脇 邦彦</p> <p>監事 中野 東禪</p> <p>同 野村 邦武</p> <p>東京都港区芝四丁目三一四 〒108-0014 〇三(三四五)五八五一</p>	<p>神奈川県仏教会 會長 本間 孝康</p> <p>副會長 竹内 成行</p> <p>同 和田 大雅</p> <p>同 都築 哲信</p> <p>同 木内 雍明</p> <p>事務局長 井澤 孝一</p> <p>横浜市中央区大平町九六 西有寺内 〒231-0859 〇四五(六六)〇一六六</p>
<p>信貴山真言宗 総本山朝護孫子寺 管 長 田中 真瑞</p> <p>長 老 鈴木 鳳永</p> <p>宗務長 鈴木 貴晶</p> <p>寺務長 野澤 密孝</p> <p>奈良県生駒郡平群町信貴山 一二八〇一一 〒636-0923 〇七四五(七二)二二七七</p>	<p>孝道山 本仏殿</p> <p>第二世統理 岡野 正貫</p> <p>副統理 岡野 鄰子</p> <p>第三世統理 岡野 正純</p> <p>横浜市神奈川区鳥越三八 〒221-0064 〇四五(四三)一一〇一</p>	<p>同 野村 邦武</p>	<p>同 野村 邦武</p>

暑中お見舞い申し上げます

<p>宗務総長 藤崎 広学</p> <p>管 長 中村 日玄</p> <p>顕本法華宗</p> <p>京都市左京区岩倉幡枝町九十一 〒606-0015 〇七五(七九)七一七一 FAX 〇七五(七九)七二六七</p>	<p>宗教法人 念法眞教</p> <p>総本山 金剛寺</p> <p>大阪市鶴見区緑三十四-111 〒538-0054 〇六(六九)二二二〇 http://www.renponshinkyou.jp/</p>
<p>本山有清寺 〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入 TEL 〇七五(四六)三〇二〇〇 FAX 〇七五(四六)三〇二〇〇 本門佛立宗 宗務本庁 〒602-8377 京都市上京区御前通一条上 TEL 〇七五(四六)一一一六六代 FAX 〇七五(四六)五九九九 URL http://www.honmon-butsumyushu.or.jp/</p> <p>本山有清寺 京都市上京区一条通七本松西入 滝ヶ鼻町一〇五番地の一 TEL 〇七五(四六)三〇二〇〇 FAX 〇七五(四六)三〇二〇〇</p> <p>宗務総長 佐藤 日風</p> <p>講 有 小山 日誠</p> <p>本門佛立宗 本山有清寺</p>	<p>真言三三三 宝宗 大本山清澄寺</p> <p>法管 主長 坂本 光謙</p> <p>宗務 長 岡田 康秀</p> <p>執行 長 有井 良随</p> <p>鉄斎美術館 長 森 藤 光宣</p> <p>宝塚市米谷字清シ一番地 〒665-0837 〇七九七(八六)六六四一 FAX 〇七九七(八六)六六六〇 http://www.kiyoshiojin.or.jp</p>
<p>愛知県仏教会</p> <p>会 長 吉田 教行</p> <p>副 会 長 田畑 修身</p> <p>同 伊藤 正導</p> <p>同 岩木 涼山</p> <p>名古屋市昭和区高峯町四八 普蔵寺内 〒466-0811 〇五二(八三)九九七二〇</p>	<p>東京都仏教連合会</p> <p>会 長 清水谷 孝尚</p> <p>理 事 長 山田 一眞</p> <p>事務局 長 新倉 典生</p> <p>東京都足立区梅田一二十六-10 善立寺内 〒123-0851 〇三(三八)八六一三六七 FAX 〇三(三八)八六八二五二</p>
<p>財団法人 国際仏教興隆協会</p> <p>名誉会長 塩川 正十郎</p> <p>印度山 半田 孝淳 日本寺主</p> <p>理 事 長 安田 暎胤</p> <p>事務総長 正本 乗光</p> <p>役員 一同</p> <p>東京都目黒区中目黒五十二四-153 〒153-0061 〇三(三七)二七六〇八 FAX 〇三(三七)二七六七三 http://homepage2.nifty.com/nipponji/ E-mail: ihba@nifty.com</p>	<p>福島県仏教会</p> <p>会 長 横山 俊邦</p> <p>専務理事 網代 智盟</p> <p>事務局 長 阿部 泰志</p> <p>福島市山口字寺前五 安洞院 〒960-8202 〇二四(五三)四〇九三九</p>
<p>真言宗中山寺派</p> <p>大本山中山寺</p> <p>宝塚市中山寺二丁目十一-1 〒665-8588 〇七九七(八七)〇〇二四 FAX 〇七九七(八七)九八七七 http://www.nakayamadera.or.jp</p>	<p>聖観音宗 浅草寺</p> <p>貫 首 清水谷 孝尚</p> <p>東京都台東区浅草二丁目十一-1 〒111-0032 〇三(三八)四二〇一八一 FAX 〇三(三八)四五六九三三</p> <p>総本山 根来寺</p> <p>新義真言宗宗務所</p> <p>和歌山県岩出市根来二二八六 総本山 根来寺内 〒649-6202 〇七三六(六一)一一四四 FAX 〇七三六(六一)一〇四四</p>

暑中お見舞い申し上げます

<p>宗務総長 後藤 憲雄</p> <p>臨済宗南禅寺派</p> <p>京都市左京区南禅寺福地町八六 〒606-8435 〇七五(七七)〇三六五 FAX 〇七五(七七)〇六九八九 http://www.nanzen.net E-mail: info@nanzen.net</p>	<p>宗務長 高木 貞歡</p> <p>時宗宗務所</p> <p>神奈川県藤沢市西富一―八一― 遊行寺内 〒251-0001 〇四六(二三)七二七六</p>	<p>管長 東條 仁哲</p> <p>真言宗大鳴派宗務所 大阪府泉佐野市大木八 〒588-0023 〇七二(四五)七〇四三 FAX 〇七二(四五)七〇五〇</p> <p>真言宗 犬鳴派 大本山 七宝瀧寺</p>
<p>管門長 跡下 泉 恵 尚</p> <p>真言宗大覚寺派宗務庁 大本山 大覚寺</p> <p>京都市右京区嵯峨大沢町四 〒616-8411 〇七五(八七)〇〇七一 FAX 〇七五(八八)二四九一一</p>	<p>宗務総長 橋本 尚信</p> <p>東寺真言宗</p> <p>京都市南区九条町一 東寺真言宗宗務庁 〒601-8473 〇七五(六七)三七一七 FAX 〇七五(六六)一六八五六 http://www.engakujor.jp/</p>	<p>大本山 円覚寺</p> <p>鎌倉市山ノ内四〇九 〒247-8503 〇四六(七二)〇四七八 http://www.engakujor.jp/</p> <p>臨済宗円覚寺派</p>
<p>会長 西村 冨 紹</p> <p>滋賀県仏教会</p> <p>滋賀県大津市坂本五―一三―一 総本山西教寺内 滋賀県仏教会事務局 〒520-0113 〇七七(五七)八〇〇一三 FAX 〇七七(五七)八三四一八</p>	<p>岐阜市西野町三一― 岐阜西別院在会所西側入口 〒500-8882 〇五八(二六)七八〇三 FAX 〇五八(二六)七八〇三 http://bukkyogin.net/</p> <p>岐阜県仏教会</p>	<p>会長 齋藤 友 厳</p> <p>副会長 片井 祥雲</p> <p>同 二宮 泰慶</p> <p>四国中央市川之江町一七七五 宅善寺内 愛媛県佛教会事務局 〒799-0101 〇八九(五六)三三〇〇</p> <p>愛媛県仏教会</p>
<p>会長 藤井 純 恵</p> <p>北海道仏教会連盟</p> <p>札幌市中央区北三条西十九丁目二―一 浄土真宗本願寺派北海道教区教務所内 〒060-0003 〇一一(六一)九六二二三</p>	<p>管主 安田 暎胤</p> <p>法相宗</p> <p>奈良市西ノ京町四百五十七番地 薬師寺 〒630-8363 〇七四(二三)六〇〇一</p>	<p>法管主 長 岩田 文有</p> <p>内局 一同</p> <p>京都府長岡京市粟生西条ノ内二六―一 〒617-0811 〇七五(九五)〇〇〇二 http://www.konyo-ji.or.jp</p> <p>西山浄土宗 総本山光明寺</p>
<p>金峯山修験本宗 天台寺門宗 和宗 妙見宗 真言宗善通寺派 真言宗山階派 真言宗泉涌寺派 真言宗国分寺派 浄土宗西山禅林寺派 浄土宗西山深草派</p>	<p>会長 伊藤 文元</p> <p>静岡県仏教会</p> <p>静岡県浜松市中区下池川町二七―一 天林寺 〒430-0905 〇五三(四七)六二二六</p>	<p>貫主 小池 弘三</p> <p>寺務長 吉井 恵貫</p> <p>真言宗須磨寺派 大本山須磨寺</p> <p>神戸市須磨区須磨寺町四一六―一八 〒654-0071 〇七八(七三)〇四一六</p>

暑中お見舞い申し上げます

- 真宗高田派
- 真宗仏光寺派
- 真宗興正派
- 真宗木辺派
- 臨済宗建長寺派
- 臨済宗相国寺派
- 臨済宗東福寺派
- 黄檗宗
- 法華宗本門流
- 法華宗真門流
- 本門法華宗
- 聖徳宗
- 華嚴宗
- 真言律宗
- 律宗
- 青森県仏教会
- 岩手県仏教会
- 群馬県仏教連合会
- 栃木県仏教会
- 茨城県仏教会
- (財)埼玉県佛教会
- 千葉県仏教会
- 新潟県仏教会
- 石川県仏教会
- 福井県仏教会
- 山梨県仏教会
- 長野県仏教会
- 京都仏教会
- 京都府仏教連合会
- 兵庫県仏教会
- 和歌山県仏教会
- 島根県仏教会
- 岡山県佛教会

- 鳥取県仏教連合会
- 香川県仏教会
- (社)徳島県仏教会
- 高知県仏教会
- 福岡県仏教連合会
- 長崎県仏教連合会
- 宮崎県仏教連合会
- 沖縄県仏教会
- (社)日本仏教保育協会
- 東京ブディストクラブ
- 全日本仏教青年会
- 日本仏教鑽仰会
- 仏教情報センター

賛助会員

〔特別会員〕

- 大本山東福寺 永井 慶洲
- 蓮華院誕生寺 川原 英照
- 大本山南禅寺 中村 文峰
- 尾道仏教会 松岡 昭禮
- 實相山中央寺 南澤 道人

〔団体会員〕

- 京セラ株式会社
- 大和証券(株)公益法人コンサルティング部
- 野村證券(株) 法人企画部
- (株)JTB法人東京第一事業部
- トップツアー株式会社
- 近畿日本ツーリスト株式会社
- 日本テンブルヴァン株式会社
- 株式会社 三州社
- 株式会社 信天堂

〔個人会員〕

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|------------|-----------|------------|----------|----------|-------------|-----------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-----------|------------------|--------------|------------|------------------|--------------------|--------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|------------|------------|------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| 株式会社 図書印刷同朋舎 | 株式会社 京念珠刑部 | 有限会社 ルンビニ | 株式会社 オメガコム | 株式会社 京扇堂 | 株式会社 公益社 | 学校法人 真宗大谷学園 | 日韓仏教交流協議会 | 全日本宗教用具協同組合 | 全日本葬祭業協同組合 | 岩手県葬祭業協同組合 | 東京都葬祭業協同組合 | 岐阜県葬祭業協同組合 | 名古屋葬祭業協同組合 | 愛知県葬祭業協同組合 | 京都中央葬祭業協同組合 | 大阪葬祭業協同組合 | 大阪市規格葬儀指定店事業協同組合 | 徳島県中央葬祭業協同組合 | 長崎県葬祭業協同組合 | 社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会 | 稲盛 和夫(京セラ株式会社名誉会長) | 社本 公一(公認会計士) | 池田 行信(浄土真宗本願寺派宗会議員) | 石上 智康(浄土真宗本願寺派宗会議員) | 塩月 光夫(浄土真宗本願寺派宗会議員) | 武田 昭英(浄土真宗本願寺派宗会議員) | 高橋 篤法(浄土真宗本願寺派宗会議員) | 中田 清吉(浄土真宗本願寺派宗会議員) | 村上 智真(浄土真宗本願寺派宗会議員) | 村橋 吉重(浄土真宗本願寺派宗会議員) | 天性寺 毛利 俊行(山形県) | 西福寺 志鳥 融光(茨城県) | 東栄寺 大森 忠篤(埼玉県) | 獅子吼会 大塚 日正(東京都) | 慈眼寺 櫻井 英幸(東京都) | 玉林禅寺 長谷 琢堂(東京都) | 圓満寺 西郊 良光(神奈川県) | 正泉寺 野澤 隆幸(神奈川県) | 本光寺 木村 光正(静岡県) | 秋月院 近藤 真道(愛知県) | 精明寺 疋田 哲壽(鳥取県) | 櫻田 佳正(京都府) | 安田 容造(京都府) | 川嶋 英彦(千葉県) | 岩屋 毅(自由民主党 衆議院議員) | 金子 恭之(自由民主党 衆議院議員) | 上川 陽子(自由民主党 衆議院議員) | 河村 建夫(自由民主党 衆議院議員) | 久間 章生(自由民主党 衆議院議員) | 高村 正彦(自由民主党 衆議院議員) | 小坂 憲次(自由民主党 衆議院議員) | 下村 博文(自由民主党 衆議院議員) | 関 芳弘(自由民主党 衆議院議員) | 高市 早苗(自由民主党 衆議院議員) | 中川 秀直(自由民主党 衆議院議員) | 長勢 甚遠(自由民主党 衆議院議員) | 西川 京子(自由民主党 衆議院議員) | 野田 毅(自由民主党 衆議院議員) | 萩山 教嚴(自由民主党 衆議院議員) | 平沢 勝栄(自由民主党 衆議院議員) | 平田 耕一(自由民主党 衆議院議員) | 保利 耕輔(自由民主党 衆議院議員) | 岩永 浩美(自由民主党 参議院議員) | 木村 仁(自由民主党 参議院議員) | 鈴木 政二(自由民主党 参議院議員) | 谷川 秀善(自由民主党 参議院議員) | 中川 雅治(自由民主党 参議院議員) | 二之湯 智(自由民主党 参議院議員) | 赤松 広隆(自由民主党 参議院議員) | 枝野 幸男(自由民主党 参議院議員) | 大串 博志(自由民主党 参議院議員) | 金田 誠一(自由民主党 参議院議員) | 楠田 大蔵(自由民主党 参議院議員) | 仙谷 由人(自由民主党 参議院議員) | 高木 義明(自由民主党 参議院議員) | 田島 一成(自由民主党 参議院議員) | 原口 一博(自由民主党 参議院議員) | 平岡 秀夫(自由民主党 参議院議員) | 前原 誠司(自由民主党 参議院議員) | 松本 謙公(自由民主党 参議院議員) | 松本 剛明(自由民主党 参議院議員) | 三日月大造(自由民主党 参議院議員) | 横光 克彦(自由民主党 参議院議員) | 和田 隆志(自由民主党 参議院議員) | 浅尾慶一郎(自由民主党 参議院議員) | 大塚 耕平(自由民主党 参議院議員) | 佐藤 公治(自由民主党 参議院議員) | 佐藤 泰介(自由民主党 参議院議員) | 鈴木 寛(自由民主党 参議院議員) | 田名部匡省(自由民主党 参議院議員) | 白 眞勲(自由民主党 参議院議員) | 林 久美子(自由民主党 参議院議員) | 福山 哲郎(自由民主党 参議院議員) | 藤谷 光信(自由民主党 参議院議員) | 前田 武志(自由民主党 参議院議員) | 自見庄三郎(国民新党 参議院議員) |
|--------------|------------|-----------|------------|----------|----------|-------------|-----------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-----------|------------------|--------------|------------|------------------|--------------------|--------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|------------|------------|------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|

暑中お見舞い申し上げます

会長

松長 有慶

副会長

清水谷孝尚

中村 文峰

東條 仁哲

椿澤 日壽

大野 玄妙

若槻 繁隆

橋本 明禪

西村 輝成

理事長

豊原 大成

常務理事

測 英徳

不二川公勝

不破 仁

小林 正道

小松 浄慎

庄野 光昭

松井 宗益

濱中 光礼

岡部 快圓

川田 聖成

理事

森田 俊朗

岡野 正純

桶屋 良祐

立部 祐道

伊藤 隆泰

山田 一眞

本間 孝康

加藤 朝雄

加納 博司

伊藤 文元

増田 貞圓

服部 文昭

監事

林 晋堂

萩野 映明

吉田 教行

評議員

佐々木孝一

百山 敬祥

田代 賢治

里見 嘉嗣

張田 珠潮

四之宮弘孝

松山 英照

谷 晃昭

上杉 照延

粕谷 利通

武田 圓龍

座間 光覚

守山 雄順

谷口 真祐

壁瀬 宥雅

吉井 恵貴

岡田 康秀

東條 仁靖

杉浦 秀祐

高倉 隆乘

安田 義樹

高木 貞歎

松浦 浩道

佐分 宗順

青木 謙整

原井 慈鳳

佐古 弘文

藤崎 広学

村上 太胤

古谷 正覚

佐伯 龍幸

藤井 純恵

大井 亮

小保方教円

姉川 慈濟

足立 泰教

家森 宏善

玉久 圭澄

小角 隆幸

一月 正人

高橋 順海

善國 乘憲

島田 喜久

宮寺 守正

参与

田中 利典

黒髪 寛延

石堂 恵眼

久我 儼昭

大谷 義博

中江 慈光

今杉 康道

高井 正俊

竹内 正道

加藤 乗安

筒井 寛昭

横山 俊邦

都筑 玄澄

山口 祐哉

高岸 義昭

長澤 香静

川島 謙宗

山田 本然

津村 泰雅

高山 久照

逸見 道郎

安孫子虔悦

総務財政審議会

山下 昭文

尾井 貴童

小林 潤一

吉水 光慈

長 亮行

森 寛勝

松山 英照

谷 晃昭

芙蓉 良英

五十嵐賢二

大谷 義博

矢吹 慈英

新倉 典生

近藤 真道

林 恵智子

長谷川正治

宮川 宏生

安田 松慶

社会人権審議会

坂田 徹心

北浦 思明

誉田 和人

伊藤 喬淳

田澤 元泰

深 真樹

神代 紹文

源田 俊昭

小宮 一雄

小島 恵真

健代 和央

本多 静芳

吉田 道興

望月 哲也

長谷川正浩

小林 正道

枝木 美香

守屋 友江

国際交流審議会

山下 昭文

桐林 三巳

禿 信敬

戸松 義晴

持田 貫信

村上 保壽

渡邊 宗徹

一島 正真

岡野 忠正

粕谷 利通

正本 乗光

坂本 観泰

奈良 康明

松濤 弘道

小笠原隆元

成田 孝英

大谷 哲夫

北川 前肇

塩入 法道

ケネズタカ

渡辺 章悟

川橋 範子

宇野 全智

藤丸 智雄

柴田 達也

柴村 堯海

望月 哲也

岡部 兼海

花岡 博芳

杉谷 義純

細川 大憲

粕谷 利通

星野 英紀

奈良 康明

齋藤 昭俊

島蘭 進

藤原 聖子

安井 育美

松尾 徹裕

宮川 善裕

斎藤 明聖

柴村 堯海

太田 順祥

並木 優記

福井 邦彦

杉本 栄次

上田 則夫

山本 昭弘

虎山 義秀

高山 久照

顧問弁護士

長谷川正浩

事務総局

事務総長

深澤 信善

総務部

奈良 慈徹

入西 智彦

小宮 加奈

財務部

江口 智流

加久保範祐

江澤みゆき

社会人権部

飯島 尚之

白井 雄仁

広報文化部

中村 澄枝

西野 良嘉

国際部

壽山 良光

藤田 宗玄

関西支局局長

松山 英照

局員一同

全日本仏教会「賛助会員」入会者一覧

(五月十一日～七月十日)

【特別会員】

實相山 中央寺

【団体会員】

岩手県葬祭業協同組合
大阪葬祭事業協同組合

大阪市規格葬儀指定店事業協同組合

【個人会員】

- 石上 智康 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
- 武田 昭英 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
- 高橋 篤法 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
- 志鳥 融光 (茨城県 西福寺)
- 長谷 琢堂 (東京都 玉林禪寺)
- 西郊 良光 (神奈川県 圓満寺)
- 野澤 隆幸 (神奈川県 正泉寺)
- 安田 容造 (京都府)
- 岩屋 毅 (自由民主党 衆議院議員)
- 久間 章生 (自由民主党 衆議院議員)
- 関 芳弘 (自由民主党 衆議院議員)
- 中川 秀直 (自由民主党 衆議院議員)
- 保利 耕輔 (自由民主党 衆議院議員)
- 岩永 浩美 (自由民主党 衆議院議員)
- 木村 仁 (自由民主党 衆議院議員)
- 枝野 幸男 (自由民主党 衆議院議員)
- 大串 博志 (自由民主党 衆議院議員)
- 楠田 大蔵 (自由民主党 衆議院議員)
- 仙谷 由人 (自由民主党 衆議院議員)
- 原口 一博 (自由民主党 衆議院議員)
- 松本 剛明 (自由民主党 衆議院議員)
- 松本 謙公 (自由民主党 衆議院議員)
- 和田 隆志 (自由民主党 衆議院議員)
- 浅尾 慶一郎 (自由民主党 衆議院議員)
- 大塚 耕平 (自由民主党 衆議院議員)
- 佐藤 公治 (自由民主党 衆議院議員)
- 鈴木 寛 (自由民主党 衆議院議員)
- 林 久美子 (自由民主党 衆議院議員)

(順不同・敬称略)

本会の事業をご理解頂くために

既に加盟団体各位には案内状を送付致しておりますが、本会事業説明の為に、加盟団体へ事務総局員を派遣しております。事業説明資料・派遣費等は本会が負担いたします。宗会或は総会の開催等にお時間を頂きたく、何卒宜しくお願い致します。

詳細は左記まで

全日本仏教会 総務部

電話 03-3437-9275

FAX 03-3437-3260

既事業説明派遣先

曹洞宗宗務庁 東京都仏教連合会

天台宗宗務庁 長崎県仏教連合会

日蓮宗宗務院 滋賀県仏教会

ご入会誠にありがとうございます。引き続き、皆様のご入会をお待ちしております。

本会ホームページから賛助会員要綱・申込書などを閲覧・プリントアウトできます。
<http://www.jbfn.jp>

全国のご寺院にお願い

個人の入会にあつては、入会希望者の菩提寺の推薦を頂くことになりました。加盟団体傘下の各ご寺院の皆様にはご負担をおかけいたしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

「救援基金」寄付者名

(五月十一日～七月十日)

長命寺 須藤恭俊

(敬称略)

ご支援誠にありがとうございました。

仏教界挙げての人的活動のため、引き続きご協賛をお願い申し上げます。

【郵便振替】

口座番号

00110-9-704834

口座名義 全日本仏教会救援基金

ご協賛にあたり、銀行での振込をご希望の方はご連絡下さい。

全日本仏教会 財務部

電話 03-3437-9275

機関誌『全仏』広告募集のお知らせ

機関誌『全仏』は、月刊一万部発行され、全日本仏教会加盟団体・各地の寺院の方に購読されております。(年十回発行)

広告掲載ご希望の方は、左記全日本仏教会事務局までお問い合わせ下さい。

※掲載内容により、若干の変更を、お願いする場合がございます。ご了承下さい。

全日本仏教会 広報文化部

電話 03-3437-9275

FAX 03-3437-3260

E-mail kouho@jbfn.jp

事務総局録事

五月(十一～三十一日)

- 十一日▼民主党「臓器移植法改正における勉強会」出席(参議院第一議員会館)
- ▼局内会議
- ▼韓・韓日佛教文化交流大会・第三十回神勒寺大会参加(韓国/神勒寺)於十四日
- ▼(財)国際仏教興隆協会監査会出席(国際仏教興隆協会事務所)
- 十三日▼第三十三回正力松太郎賞表彰式・祝賀会出席(東京グランドホテル)
- 十五日▼朝日ビジネスソリューション来局
- 十七日▼日蓮宗総本山身延山久遠寺五重塔落成慶讃奉告大法要・祝賀之宴 西村副会長参列(山梨県 身延山久遠寺)
- 十八日▼監査会
- ▼故宮崎憲之評議員(浄土真宗本願寺派総務)本願寺宗門葬参列(京都府 本願寺)
- 二十日▼(財)国際仏教興隆協会第九十回理事・監査会 第八十回評議員会出席(品川インターシテイホール)
- 二十一日▼社会人権審議会正副委員長と打合せ
- ▼改正省エネ法説明会出席(関東経済産業局)
- ▼事務連絡会議
- 二十五日▼局内会議
- 二十六日▼第三十四回全日本葬祭業協

同組合連合会通常総会懇親会出席(品川プリンスホテル)

二十七日▼和宗総本山四天王寺管長晋山披露 松長会長参列(大阪府 シェラトン都ホテル大阪)

▼日本宗教連盟幹事会出席(新宗教連盟会館)

▼民主党本部事務局と法令遵守に関する懇談会(民主党本部)

二十八日▼無料法律相談

▼臨濟宗妙心寺派宗務本所訪問

二十九日▼第一回理事会・評議員会・参与会(京都府 リーガロイヤルホテル京都)

三十日▼三千院「御懺法講」参列(京都府 三千院宸殿・グラウンド プリンスタホテル京都)

▼真宗大谷派東京教区 同朋大会参加(文京シビックホール)

六月(一～三十日)

- 二日▼総務財政審議会
- 三日▼国際交流審議会
- 四日▼社会人権審議会(全体会)
- ▼港区社会保険事務所「算定基礎説明会」出席(日比谷公会堂)
- 九日▼局内会議
- 十日▼全日本仏教青年会 宮寺理事長来局
- ▼(株)大和証券来局
- 十一日▼全日本葬祭業協同組合連合会事務局来局
- ▼無料法律相談

十五日▼高野山真言宗金剛峯寺「宗祖降誕会」取材

十六日▼新義真言宗取材

▼BNN第二回運営委員会・総会出席(孝道教団)

▼(財)日本宗教連盟 平成二十一年度第二回幹事会・理事会出席(新宗教連盟会館)

十七日▼広報委員会

▼曹洞宗内局 本会事業説明(曹洞宗宗務庁)

▼「同宗連」第二十四回部落解放基礎講座出席(曹洞宗宗務庁)於十八日

十八日▼金峯山修験本宗 第二十八世管長五條順教殿下本葬儀参列(奈良県 金峯山寺)

十九日▼税務に関する打合せ

二十二日▼(財)公益法人協会「公益法人会計入門編」セミナー参加(全国都市会館)於二十三日

▼日本宗教連盟主催「税制勉強会」出席(グラウンドプリンスホテル赤坂)

▼久遠寺 小松信正師(身延山久遠寺五重塔奉賛記念事業局長)来局

二十三日▼BNN事務局訪問

二十四日▼局内会議

▼天台宗内局 本会事業説明(天台宗宗務庁)

▼峰崎直樹氏・藤谷光信氏両参議院議員来局

二十五日▼長崎県仏教連合会総会 本会事業説明(ニュー長崎ホテル)

二十六日▼東京都仏教連合会総会 本会事業説明(本願寺築地別院)

七月(一～十日)

- 一日▼日本仏教鑽仰会「第六十七回東京お盆まつり」出席(銀座プロツサム中央会館)
- ▼「都道府県仏教会代表者会議・研修会」(日光山輪王寺)於二日
- ▼日蓮宗内局 本会事業説明(日蓮宗宗務院)
- ▼福島県仏教会取材
- ▼参議員自由民主党政策審議会から日本宗教連盟へのヒヤリング(国会議事堂)
- 二日▼(財)国際仏教興隆協会「天台座主半田孝淳殿下 印度山日本寺竺王就任を祝う会」出席(京都府 中村楼)
- ▼特別展覧会「日蓮と法華の名宝」記者発表会出席(日本外国特派員教会)
- 三日▼国会質問主意書について打合せ(参議院議員会館)
- 六日▼滋賀県仏教会総会 本会事業説明(滋賀県西教寺)
- ▼(財)日本仏教保育協会取材
- 八日▼韓国出身戦没者還送遺骨追悼式参列(祐天寺)
- ▼「朝鮮半島出身の旧民間徴用者の遺骨問題」に関する質問主意書「手交(国会議事堂)」
- ▼「臓器移植法」改定を考える緊急院内集会―宗教界から緊急提言―傍聴(参議員議員会館)
- 九日▼局内会議
- ▼宗教教育推進委員会

▼無料法律相談

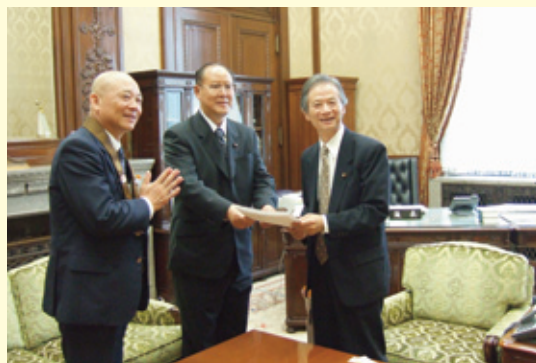
二十九日▼宗教法人審議会(文化庁)

▼BNN企画委員会(庭野平和財団事務所)

朝鮮半島出身の旧民間徴用者の遺骨問題に関する 質問主意書を江田五月参議院議長に提出

7月8日(水)、民主党参議院議員 藤谷光信氏(本会推薦議員)は、「朝鮮半島出身の旧民間徴用者の遺骨問題に関する質問主意書」を江田五月参議院議長に提出。深澤信善本会事務総長は藤谷議員とともに、江田参議院議長に主意説明のために議長室を訪れた。

(質問主意書内容の詳細及び内閣総理大臣答弁書は、次号の『全仏』誌に掲載予定)



右から江田五月参議院議長、藤谷光信民主党参議院議員、深澤信善本会事務総長

日蓮と法華の名宝 京都国立博物館にて開催

開催場所 京都国立博物館
開催期間 2009/10/10~2009/11/23
主催 京都国立博物館、日蓮聖人門下連合会、日本経済新聞社、京都新聞社
後援 文化庁、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、全日本仏教会

ホームページ <http://www.kyohaku.go.jp/>
お問い合わせ Tel. 075-541-1151

本会ホームページにて、入場券プレゼントを行っております。<http://www.jbf.ne.jp>



高野山弘法大師降誕会写真



法要には多数の人々が詰めかけた



松長有慶座主(左)半田孝淳座主(右)が笑顔で握手